

廿日市市健康増進計画「健康はつかいち21」(第3次)・廿日市市食育推進計画(第3次)(素案)に関する
意見募集の結果と対応について

1. 実施期間

令和5年12月18日(月)～令和6年1月24日(水)

2. 意見提出先と件数

持参	4件
郵送	0件
FAX	0件
ホームページ	6件
合計	10件

3. 意見の概要及び意見に対する市の考え方(対応)

廿日市市健康増進計画「健康はつかいち21」(第3次)・廿日市市食育推進計画(第3次)(素案)について、お寄せいただいたご意見とそれに対する考え方については、次のとおりです。

今回、ご意見をお寄せいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

番号	該当ページ	意見概要	市の考え方(対応)
1	全体	「市民が取り組むこと」が明確で、分かりやすくよいと思いました。	市民の方が具体的に何に取り組んだらいいのかがわかりやすいように記載しました。
2	P.22	健康はつかいち21イメージキャラクターハツラツはっちゃんが素案内になかったため、挿絵で入れるとより親しみやすいと思いました。	市民の方に親しみやすい計画書になるように挿絵でハツラツはっちゃんを掲載します。

3	P.28	<p>恥ずかしながら、ロコモティブシンドロームやフレイル予防の意味が正確には分からないので、最初に出てくる28ページに注釈があればよいと思いました。(95ページでようやくできてきているので…)</p>	<p>ご指摘の通り、最初に出てくるページに用語解説を掲載します。</p>
4	P.31、P.55、P.56、P.68	<p>一言でコロナのせいだと言えそうですが、コロナ感染拡大防止の影響（外出自粛、イベント自粛、体験機会の減少）なのか、コロナ感染症罹患の影響なのか、原因をどう考察したのかももう少し丁寧に記述があると分かりやすいと思いました。</p>	<p>P31の運動習慣がある人の割合の低下や、P55,56の何らかの地域活動又は就業をしている高齢者の割合の低下、外出が週1日以下の高齢者の割合の増加は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の影響が大きいと推測しています。P68は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにイベントや行事が中止になるなど、農林漁業体験機会が減少したと考えられます。分かりやすい表記となるよう修正します。</p>
5	P.96、P.107	<p>市民への健康、食育等の取り組みにおいて、地域で周知等も含めた活動には、健康づくり応援団、食生活改善推進員、ウォーキングリーダー、保健運動委員などの人数などの体制と活動に必要なスキルが充実していることが重要と考える。</p> <p>今現在の各地域における健康づくり応援団等の人数は掲載もなくわからないが、超高齢化社会において、応援団等の高齢化、担い手不足といった課題はないのだろうか？</p> <p>そうした中での応援団員等の育成について、少し具体的な育成方法(担い手の確保策、スキルアップのための</p>	<p>地域での健康づくりを推進する上では、健康づくり応援団や食生活改善推進員、ウォーキングリーダーなど、市民の健康づくりを支援する人材が、健康づくりをすすめるパートナーとして非常に重要と考えています。定期的に養成研修を実施し、養成後も研修を継続するなど担い手の確保やスキルアップなどの活動支援を行っています。計画書では具体的な育成方法の表記まではしていませんが、今後もそれぞれの活動人材ごとの課題や地域ごとの課題をとらえ、新たな人材の養成や継続した育成、活動支援を行い、地域での健康づくりを推進していく体制を整えていきたいと思っています。</p>

		<p>研修)などの記載もあってもいいのではないだろうか。デジタル化が進む中ではあるが健康を推進する活動などにおいて、人から人へのアプローチとしてマンパワーが重要であるとする。健康づくり応援団の体制確保として、地域ごとの人口や年齢構成の推移なども踏まえ、地域ごとでの施策の優先順位に応じた体制整備ができることに期待したいと思います。</p>	
6	P.105	<p>LINE 市公式アカウントや Facebook などの SNS で小学生の朝食コンテストを拝見しました。</p> <p>また、大野学校給食センターの Facebook もフォローし拝見しています。</p> <p>SNS の活用は、食事の大切な要素である見た目の色使いや、給食センター職員の働く姿などフルカラーで効果的に情報発信できるので、今後も引き続き活用してほしいと願います。</p> <p>一方で、デジタル技術による情報発信になじみが薄い世代も、多くおられると思います。</p> <p>そこで、デジタルではありませんが、広報はつかいちで食育推進の連載を検討していただけないでしょうか。</p> <p>例えば、春・夏・秋・冬の四季をテーマに、あるいは4つの基本目標「はつ」「か」「い」「ち」をテーマに、保育園・教育委員会・健康福祉総務課の各3所属が情</p>	<p>今後、4つの基本目標「はつ」「か」「い」「ち」をテーマに、ホームページや SNS の活用、広報はつかいちやはっちゃん通信での食育推進の連載の検討も含め、関係する所属とも十分に連携し、分かりやすく広く情報発信をしていきたいと思っています。</p>

		<p>報発信をすれば、12ヶ月の連載になるのではないかと思います。</p> <p>もちろん、それを SNS でも同時に発信すれば、広く市民の目にとまるのではないかと思います。"</p>	
7	第4章 廿日市市健康増進計画第3次	<p>普及啓発として、共働きで時間がないことや高齢化が進む中で自分自身の食を選択する力、また食事を用意してくれる家族のサポートも必要不可欠の現状を踏まえると、ライフコースアプローチがとても大切だと思います。</p> <p>その食を選択する力を養うために、保育園や学校、高齢者の定期的な健康診断の際に、廿日市市でもぜひやってみてもらいたい取組みがあります。ベジチェックで定期的に現状を数値化する事で、次はもっとイイ点数になるように野菜を食べよう意識がつながる取組みの講演を聞きました。こういった本人の意識改革や行動変容につながるような取組みを取り入れて貰えないでしょうか？</p>	<p>ご指摘のとおり、胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えたライフコースアプローチの視点はとても重要で、各世代に対する様々な取り組みが必要となります。ベジチェックについては、市のイベントや健康教室等において、野菜摂取の動機付けとなるように、市と連携協定を結ぶ企業と実施しています。今後も本人の行動変容につながりやすい手法を取り入れた事業方法を検討していきたいと思えます。</p>
8	第4章 廿日市市健康増進計画第3次	<p>朝食コンテストなどは、朝食の調理時間10分が現状と講演で聞いたので、その現状に見合ったコンテストを行う方が、レシピも活用されやすくなり、また子どもでも料理が苦手な人でも作りやすくなると思えます。</p>	<p>朝食コンテストでは、栄養バランスがとれた作品のうち、「時短・簡単」ということも審査のポイントの1つとして挙げており、忙しい朝でも簡単に作れる、子どもでも作れることも大切にしています。現状を踏まえ、今後も朝食コンテストがよりよいものとなるよう、朝食摂取の普及につながるよう、検討を重ねていきたいと思えます。</p>

9	P.83	<p>評価指標の現状値と目標値を周知し、自分が今どのくらい歩いているのか意識できる機会を増やしたらいいと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、日常生活における歩数に関しては、現状値が低い状況にあり、周知が必要と考えています。自身の歩数について知り、日常生活活動を増やすような取り組みを考えていきたいと思います。</p>
10	P.53、P.92	<ul style="list-style-type: none"> ・このことについて、53 ページの課題には上がっていない。 ・廿日市市は、生活習慣病の中で何が多くて健康寿命の延伸のためにこれを重点的に取り組んでいくというのがあればより廿日市市独自の計画になると思う。 	<p>市では医療費の状況や特定健康診査の結果について国民健康保険の方(人口の約2割のデータ)しか把握できないため、計画の課題としては記載していませんが、国民健康保険の方の生活習慣病患者数をみると、16 ページに掲載しているように、全国、広島県と比較して高血圧、脂質異常症、脂肪肝の患者数が多くなっています。このことを踏まえ、93 ページの評価指標の項目にあるようにメタボリックシンドローム該当者、予備軍を減らす、HbA1c(血糖値)が高値になる者の割合を減らす、LDL コレステロールが高値になる人の割合を減らすよう、特定保健指導や健診結果説明会、健康教室を実施していきます。</p>